

NEWS 発電所内で火災！ - 西日本防災システム

2014 03 07

3月7日東京電力の発表によりますと、川崎火力発電所内の産業廃棄物保管庫で火災があり、放射性物質を吸着したフィルターが燃えたようです。東電は発電所正門付近で測定した空間放射線量は同市内と同程度の毎時0.06マイクロシーベルトで、「人体への影響はない」としているそうです。

燃えたのは、液化天然ガス(LNG)を燃料とする発電設備で使われたガスタービンの吸気フィルターで約800個のうちの一部だそうです。福島第1原発事故後、大気中に放出された放射性物質を吸着したもので、東電はこれらを発電所内で保管していたようです。

当初、屋外でシートをかぶせて保管していましたが、雨にぬれたため、保管庫内のヒーターで乾燥する作業中に出火したそうです。火災は同日午後2時20分頃発生し、東電の自衛消防隊が消火に当たり、約40分後に鎮火したようです。安全で確実な作業を御願い致します！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 